

Part 2

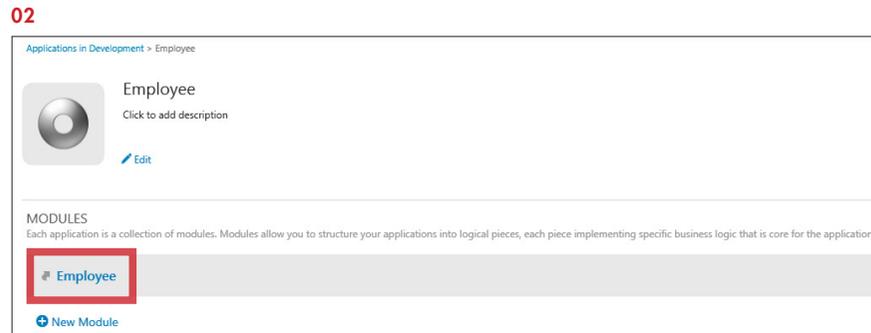
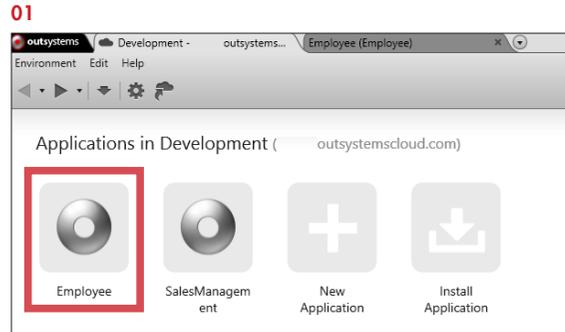
CHAPTER

15

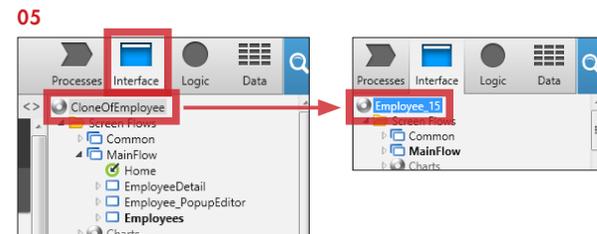
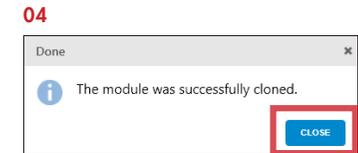
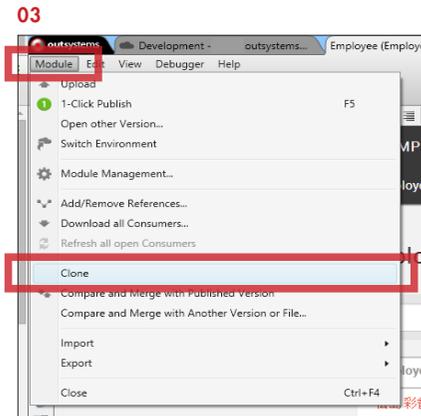
データの範囲とデバッグ

## アプリケーションの複製を作成する

- 01 「Chapter 1」にて作成した「Employee」アプリケーションをクリックする。
- 02 「Employee」アプリケーションモジュールをクリックする。

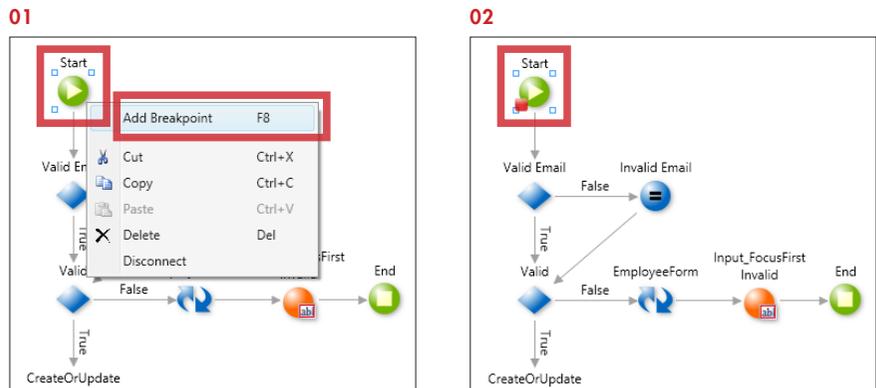


- 03 メニューバーから「Module」>「Clone」を選択する。
- 04 出現したダイアログの「CLOSE」ボタンをクリックする。
- 05 Interfaceレイヤを開き、複製されたアプリケーションモジュールの名前を「CloneOfEmployee」から「Employee\_15」にリネームする。



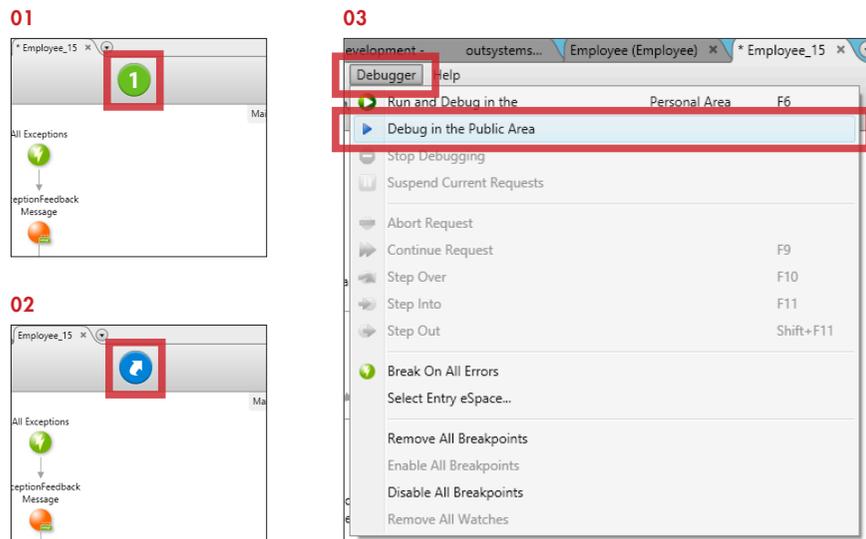
## ブレイクポイントを設定する

- 01 Interface レイヤを開き、「MainFlow」>「EmployeeDetail」>「Save」Screen Action を開く。
- 02 「Start」を右クリックし、「Add Breakpoint」を選択する。



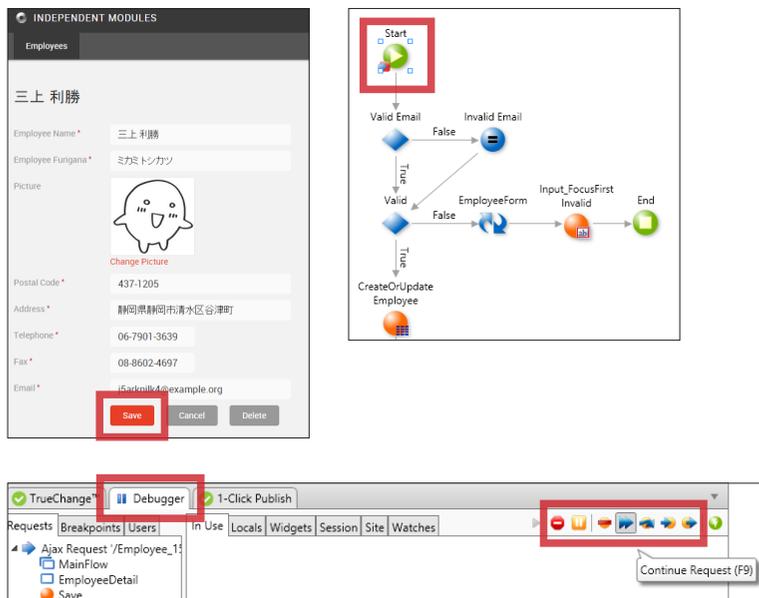
## Public Area でデバッガを利用する

- 01 1-Click Publish ボタンを押して、Publish を行う。
- 02 Open In Browser ボタンを押して、ブラウザを起動する。
- 03 Employee\_15 アプリケーションのログイン画面が表示されたら、管理者ユーザでログインする。

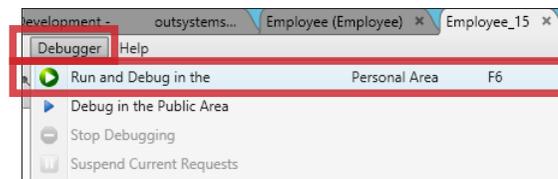
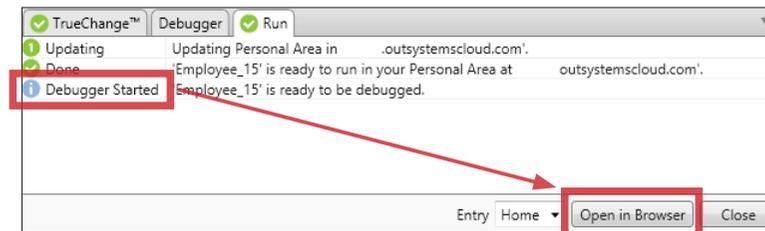


**04** 以下の点を確認する。

- 「Save」をクリックすると、設定したブレークポイントで処理が停止する。
- Debuggerタブの「Step Over」で1アイコンずつ処理する。
- Debuggerタブの「Step Out」で呼び出し元にカーソルが移動する。
- Debuggerタブの「Continue Request」で処理が継続され、データ保存が完了する。
- Debuggerタブの「Stop Debugging」でデバッガが停止し、ブレークポイントで処理が止まらなくなる。

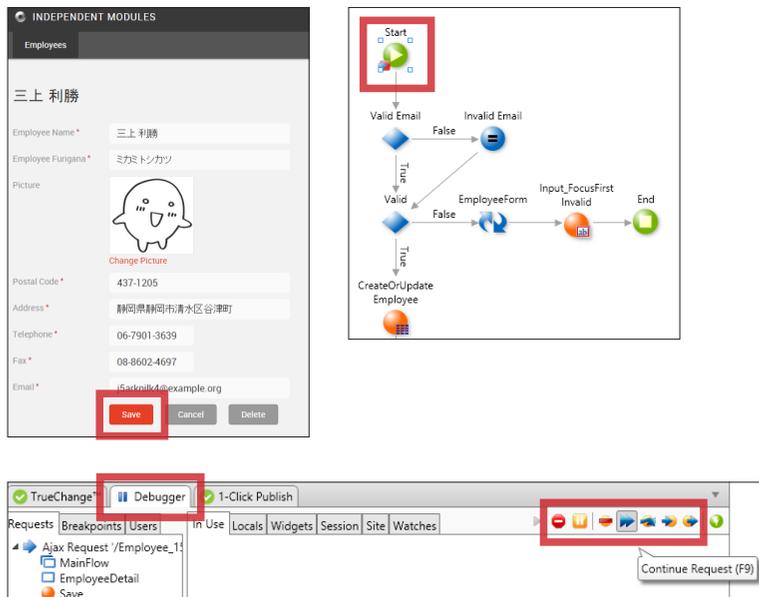
**04****Personal Area**でデバッガを利用する

- 01** 「Debugger」を開き、「Run and Debug in the 'username' Personal Area」を選択する。
- 02** 画面下部にデプロイ状況が表示されるので「Debugger Started」と表示されたら「Open in Browser」をクリックする。
- 03** Employee\_15アプリケーションのログイン画面が表示されたら、管理者ユーザでログインする。

**01****02**

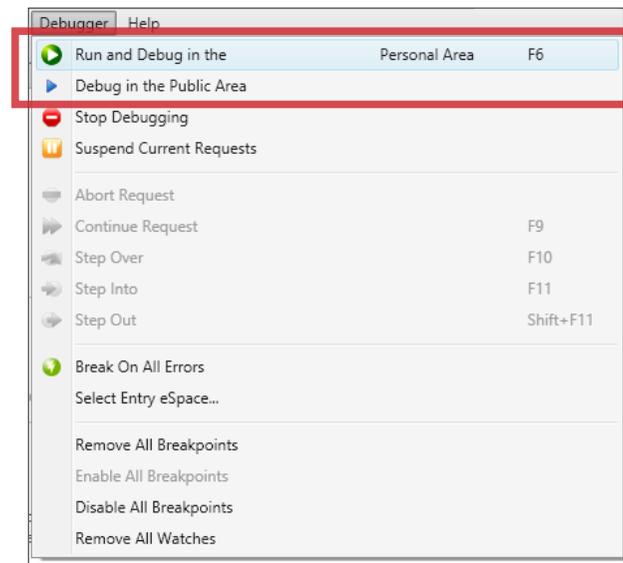
**04 Public Areaのデバッグと同様のことができることを確認。以下の点を確認する。**

- 「Save」をクリックすると、設定したブレークポイントで処理が停止する。
- Debuggerタブの「Step Over」で1アイコンずつ処理する。
- Debuggerタブの「Step Out」で呼び出し元にカーソルが移動する。
- Debuggerタブの「Continue Request」で処理が継続され、データ保存が完了する。
- Debuggerタブの「Stop Debugging」でデバッグが停止し、ブレークポイントで処理が止まらなくなる。

**04****Public AreaとPersonal Areaのデバッグ**

Public Areaは、すべての開発者やユーザが利用する領域にアプリケーションがPublishされます。Personal Areaは、自分自身だけの領域でアプリケーションを実行することができます。Public Areaでデバッグを行うと、他の開発者やユーザからのアクセスもすべてデバッグが有効になってしまい、影響が大きく出てしまいます。Personal Areaを利用することで、自分自身だけの環境でデバッグを行い、アプリケーションの動作を確認することができます。

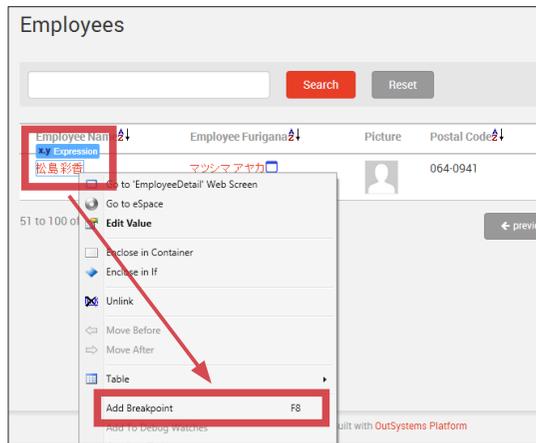
Public AreaのURLは「https://<server>/Employee\_15/Home.aspx」、Personal AreaのURLは「http://<server>/Employee\_15/<username>/Home.aspx」となり、Personal AreaではURLに<username>が含まれるようになります。Personal Environmentは開発者が一人だけしかいないため、本セッションでは以降の操作は全てPublic Areaでデバッグを行います。



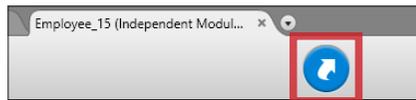
## 画面の値を確認する

- 01 Interface レイヤを開き、「Employees」をダブルクリックする。
- 02 「松島彩香」を右クリックし、「Add Breakpoint」を選択する。
- 03 「Debugger」を開き、「Debug in the Public Area」を選択する。
- 04 青の矢印ボタン (Open in Browser) をクリックし、ブラウザでアプリケーションを表示する。
- 05 Employee\_15アプリケーションのログイン画面が表示されたら、管理者ユーザでログインする。

01・02



04

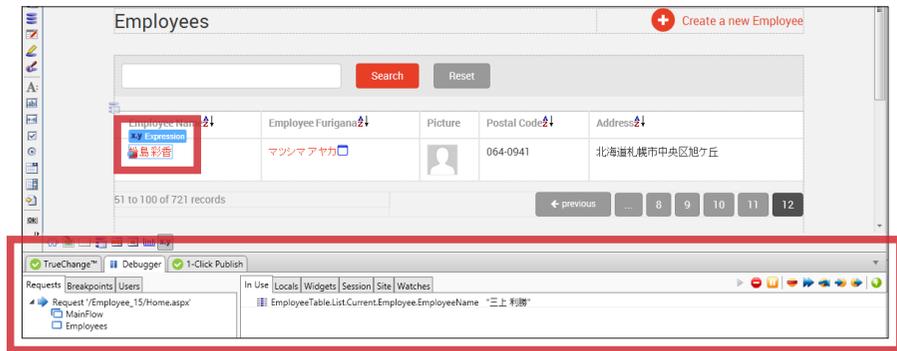


- 06 画面上のブレークポイントで処理が止まる。

- 07 以下の点を確認する。

- 「Continue Request」を実行すると、1行データが進む。
- Debugger タブの「Step Over」を実行すると、カーソルが左に一つ進む。
- 「松島彩香」を右クリックし、メニューから「Disable Breakpoint」を選択する。
- Debugger タブの「Continue Request」を実行すると、Employee の一覧ページが表示される。

06・07



## 検索実行時の動作を確認する

- 01 Interface レイヤを開き、「Employees」>「RefreshEmployeeTable」を右クリックし、「Add Breakpoint」を選択する。
- 02 「RefreshEmployeeTable」の「Start」にブレークポイントが設定される。
- 03 青の矢印ボタン (Open in Browser) をクリックし、ブラウザでアプリケーションを表示する。
- 04 Employee\_15アプリケーションのログイン画面が表示されたら、管理者ユーザでログインする。

- 05 デバッガを実行中に「Search」をクリックすると、ブレークポイントを設定している「Start」で処理が停止する。
- 06 以下の点を確認する。
  - 画面の値を確認したときと同様、「Step Out」や「Continue Request」での動作を確認する。
  - 検索条件を入力し、Session Variableの値を確認する。

